

「あったかくて、かわいい」心の傷癒やすペット

### JR脱線事故被害の女性

JR福知山線脱線事故で負傷した兵庫伊丹市の増田和代さん(41)は、福祉施設や教育施設を、犬を連れて訪問する「セラピードッグ」のボランティアを始めた。事故後に飼いはじめたシーズー犬「ゆめ」に心を癒やされ、心的外傷後ストレス障害の症状が改善した経験を持つ。「犬には人間にない、心を安定させる力がある。犬に触れて笑顔になってほしい」と願う。

今年15日、大阪府池田市の老人ホーム。増田さんはゆめを90代女性のひざに乗せた。女性はそっと頭をなで「あったかいなあ。かわいいなあ」と笑顔に。増田さんはほほえんでその様子を見つめた。

伊丹市内のNPO法人「日本レスキュー協会」が行っているセラピードッグ事業で、この日は70〜90歳の入所者10人がゆめを含む3匹の犬と戯れた。ホームの女性職員は「いつも険しい表情をしている認知症の男性も

## 愛犬と奉仕活動



「ゆめ」を老人ホームの入所者に触れさせる増田さん。大阪府池田市で

穏やかになった」と驚く。05年の事故当時、母洋子さん(69)と3画面目に乗っていた。こゝろ音が響く中、床にあおむけに転倒する。飛ばされた人が体の上に次々と折り重なった。腰の骨を折った。洋子さんも重傷。増田さんは退院後、頻繁に息が苦しくなり、めまいを覚えた。精神安定剤と睡眠薬を多量に飲み「薬でいつも頭がボーッとしていた」。友人の遊びの誘いも断り、外出を避ける日々が続く。

「今はどん底だけど、いつかは夢のある暮らしを」と思っていた名前だ。犬のしつけ教室に通い、人と触れ合う機会が増えた。ある日、ゆめとしゃべりながら顔になる自分に気付く。「以前はテレビを見ても笑わなかったのに」。薬の量は半分以下に減っていた。

現在は、犬の美容師であるトリマーを目指して専門学校に通っている。新聞でレスキュー協会の存在を知り、セラピードッグに参加した。「犬の素晴らしさをもっと知ってもらいたい」。これからはゆめと活動していくつもりだ。

【原田啓之、写真も】



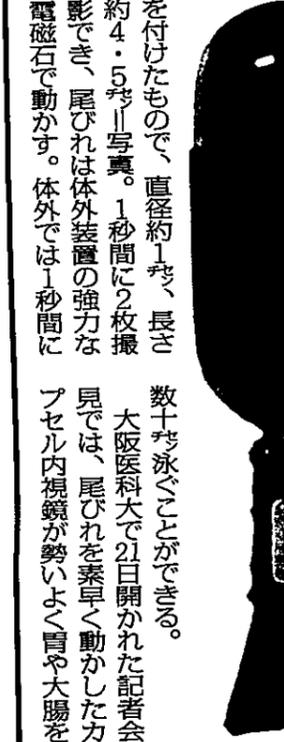
仮設住宅の敷地内に設置されたペット専用ブース。福島県新地町で20日、佐々木順一撮影

### 福島でも効果絶大

仮設住宅にブリス動物が持つ「癒やし」は以前から指摘されていたが、東日本大震災発生後に多くの被災者がストレスや心の傷を抱える中、改めてその効果が見直されている。福島県新地町では、被災者が入居する町内7カ所の仮設住宅のうち2カ所で、住宅近くに木枠で作ったペット用ブースを設置。新たに建設される仮設住宅にもスペースを確保する予定だ。同町町長は「仮設住宅に今月入居した70代の女性は、約3カ月ぶりに愛犬2匹と再会し、「家族同然の犬と生活できるのはうれしい」と話した。

### 泳ぐ内視鏡 胃と大腸撮影

遠隔操作で体内を泳ぐ、小さなカプセル内視鏡を龍谷大理工学部(大津市)や大阪医科大(大阪府高槻市)などのチームが開発し、人間の胃と大腸の撮影に成功したと21日、発表した。チームによると、駆動力が強く、体を横にした状態で大腸内を肛門側から逆行させることに世界で初めて成功。自走式のカプセル内視鏡で大腸を撮影したのも初めて。従来の内視鏡では撮影が難しかった小腸を含む、食道から大腸までの全消化管を、数時間で検査できるようになる可能性がある。



大塚尚武龍谷大名誉教授は「小型で容易にのめる。患者の負担を減らせる上、内視鏡の向きや場所を精密に制御でき、がんなどの正確な診断につながる」としている。この内視鏡は、従来のカプセル内視鏡に魚の尾びれのような駆動装置を付けたもので、直径約1センチ、長さ約4.5センチ、1秒間に2枚撮影でき、尾びれは体外装置の強力な電磁石で動かす。体外では1秒間に数十センチ泳ぐことができる。大阪医科大で21日開かれた記者会見では、尾びれを素早く動かしたカプセル内視鏡が勢いよく胃や大腸を

宮城県亶理町で「巨理病」なるものがささやかれている。新種の風土病か、はたまた特産のイチゴに発生した病害かと思いきや、「県外から来たボランティアに多発するんですよ」と語る町民は「ボランティアセンターのコーディネーター、佐藤寛子さんの声はうれしそうだ。「なぜか巨理が好きになり、帰っても

東日本大震災で大きな被害を受けた福島県いわき市で、管からも大量に流れ出ている。地下に広がるかたまりの炭坑にたまった温泉水が、地殻変動で押し上げられたのが原因とされ、市長生活でも影響が出て

### 温泉

東日本大震災で大きな被害を受けた福島県いわき市で、管からも大量に流れ出ている。地下に広がるかたまりの炭坑にたまった温泉水が、地殻変動で押し上げられたのが原因とされ、市長生活でも影響が出て

め旧炭鉱の排気口を囲う円筒形のコンクリート製建造物(高さ3.7メートル、直径10メートル)からほぼ同じ時期に温泉があふれ出た。湯量は多過ぎて計測不能で、温度は約50度。風向き次第で硫黄臭のする湯煙が隣接する住宅街に充満し、

号で側溝の鋼鉄製ふた(長さ100センチ、幅40センチ、重さ約30キロ)4枚を盗んだとされる。ふたは固定されていないから、小川容疑者は、ふたをワゴン車の荷台に積み込み、神戸市内

電車(4両)が、踏切内に進入した同区の製パン会社「タカキベーカリー」の系列会社の「カリ」の系列会社の配送トラック(2ト)と衝突し、トラックを運転していた児玉博之さん(42)は広島県海田町寺迫1丁目1番1号で即死した。乗客・乗員にけがはなかった。

泉警海田署やJR西日本広島支社によると、電車はトラックを車面下部に巻き込んで約300メートル引きずって停車。トラックから燃料が漏れ出し、安全確認のため、乗客約500人は電車内で約1時間待機後、約600メートルの安芸中野駅まで徒歩で移動した。